



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

アフガニスタン：西部地域におけるターリバーンの活動増加 (6月27日付 Pjhwok 通信)

7月1日付 Pjhwok 通信は、マックリスタル ISAF 司令官が、ターリバーンが西部で勢力を増大させていると述べたと報じている。概要は以下の通り。

1. マックリスタル ISAF 司令官の発言

- (1) 西部のヘラート県及びバドギース県を訪問中のマックリスタル ISAF 司令官は 27 日、Pajhwok 通信とのインタビューにおいて、アフガニスタン西部でターリバーンの勢力が増大していると警告し、反政府武装勢力は NATO が南部及び東部地域に大きく焦点を当てていることにつけ込んでいと述べた。
- (2) 反政府勢力が比較的平穏な北部及び西部地域に焦点を当てているという報告を確認するには至らないが、テロリストが北部、北西部及び西部地域で活動を始めようと望んでいる兆候がある。
- (3) マックリスタル司令官は、北部及び西部地域におけるターリバーンの作戦は偶発的なものか長期的戦略の一部かどうかは分からないとしながらも、住民の支援を借りてテロリストの計画を阻止すると明言した。
- (4) ターリバーンの拡張は無視できない問題であると確信しており、問題が1つの地区から他の地区へ広がるのを看過できないだろう。
- (5) ターリバーンの西部地域への拡張に関する報告は、この地域における過去数週間にわたるいくつかの暴力事件の背景に対して浮かび上がったものである。

2. バドギース県バーラームルガブ郡訪問中にマックリスタル司令官は、スピラグンダイ地区にある小規模のさびれた ISAF 基地を訪れ、小さなテントで生活している部隊を慰問した。このキャンプのアフガン人通訳は、2 日前にロケット数発が基地内に着弾したが、部隊に死傷者は出なかったと述べた。

3. アルマン・バドギース県知事は、司令官との面談で、同県に配置されているアフガン警察、国軍及び外国軍は、バーラームルガブ郡にターリバーンがいるにもかかわらず、バドギース県から 1.5 km 離れた場所で駐屯しているとし、もしバーラームルガブ郡で敵の行動を封じられないのであれば、我々住民は大きな問題に陥るほか、駐留部隊増加の要望が叶えられないのであれば、この郡での軍事作戦は失敗すると述べた。

4. アルマン知事は、バドギース県アブカマリ郡はこれまでトラブルのなかった唯一の郡であるが、最近ではターリバーンの活動が報告されていると述べた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799